

# 岡崎嘉平太記念館



Vol. 35

愛人者人恒愛之  
難波佑三郎兄承 岡崎嘉平太書

だより

大和山に  
抱かれ育つ  
健康は育つ  
母校に  
母校に育つ  
岡崎嘉平太書

低頭思故郷  
大和公民館 岡崎嘉平太書

一期一会  
岡崎嘉平太書

愛情  
岡崎嘉平太書

信はたして以と  
愛はよとこ糸  
織り成せ人の妻と  
美しと  
岡崎嘉平太書

鍛錬  
岡崎嘉平太書

限界に挑め  
芳上竹花小学校 岡崎嘉平太書

和機  
心自閑  
責任  
大和生

愛  
難波博一書 大和生 岡崎嘉平太書



人の身になって考えよう  
大和小学校のお友達 岡崎嘉平太書



友情凌雲  
甲子仲秋 岡崎嘉平太書

和顔愛語  
岡崎嘉平太書

創造  
岡崎嘉平太書



生涯  
持一誠  
岡崎嘉平太書

岡崎嘉平太記念館は開館20周年を迎えました。

平成13年(2001)8月23日に開館した岡崎嘉平太記念館は、おかげさまで開館20周年を迎えました。これまでの20年の活動には、非常に多くの方々に関わっていただきました。皆様に支えられながら歩んでこられた20年であることを職員一同大変嬉しく思うとともに深く感謝申し上げます。

開館20周年を記念した事業につきましては、依然として新型コロナウイルス感染拡大の勢いが止まらない中ですが、感染防止策を実施しつつ、創意工夫を図りながら、遺墨を中心に取り組んで参ります。岡崎嘉平太氏は、企業経営、日中友好につとめる中、数多くの書を遺しています。特別企画展「遺墨にみる一岡崎嘉平太の人間像」、また「岡崎嘉平太の心 書道展」と、岡崎氏の遺墨を通して、岡崎氏が書に託した心、生き方、業績などを偲んでいただくとともに、現代に生きる皆さんへの貴重なメッセージを感じていただけたら幸いです。

# 第15回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展開催

岡崎嘉平太氏が愛した豊かな自然、心なごむ風景の写真を通じ、岡山の良さを再認識する機会にさせていただきたいとの願いを込めて始めた写真展も15回目を数え、今回も岡山県内外から193点ものご応募をいただきました。岡山県美術展覧会(県展)審査員の長瀬正己氏と日本画家の森山知己氏、岡崎嘉平太記念館館長による厳正な審査の結果、下記のとおり素晴らしい16点の入賞作品が決まりました。令和3年4月16日(金)から7月12日(月)まで同記念館企画展示室で、7月20日(火)から25日(日)まで岡山県天神山文化プラザ第一展示室小室にて、ご応募いただいた全作品を展示いたしました。

また、岡崎嘉平太記念館開館20周年記念行事の一環として「歴代最優秀・優秀作品展」も同時開催しました。

※記念館では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「緊急事態宣言」による国及び県の基本方針を踏まえ、5月13日(木)から6月20日(日)まで臨時休館しました。

その為、記念館会場では、当初予定しておりました6月20日(日)までの会期を延長して開催しました。

また、5月16日(日)に予定しておりました表彰式につきましても、受賞者の皆様ならびにご列席者の皆様の安全確保を最優先に考慮し、開催を中止しました。

## 入賞作品

### 【審査員特別賞】

安藤 通明 神崎 由子  
芝 次昇

### 【入賞】

小川 京子 小野 明裕  
陰山 亜紀子 北川 隆司  
野津 裕一 福島 一郎  
松上 修 八木 誠二  
吉川 正博 吉田 昌康



【最優秀賞】 小倉 護  
「大空へ」



【優秀賞】 太田 由紀子  
「小さな旅人」



【優秀賞】 藤本 陸央  
「落ち椿の想い」

(敬称略・順不同)

193点の応募作品から、最優秀賞、優秀賞、入選に選出された作品について審査員の先生方から講評をいただきました。

- 全体** コロナ禍にあり、遠方へ出掛けられないことが、地元岡山の良さを再認識する良い切っ掛けとなったのではないかと、何度も足を運ぶなど、じっくりと取り組んだ様子の窺える写真が多く、結果、質の向上にも繋がっている。
- 最優秀賞** 瀬戸内海の絶景を一望できる王子が岳から撮影。瀬戸内海の上空にパラグライダーが浮かんでいるのをあまり見かけない上に、夕日に照らされた瀬戸内海の光の中にパラグライダーの翼が緑色のシルエットで浮かんでいるという、時間帯も含め絶妙なタイミングで撮影されている。構図も、パラグライダーの翼の輪郭を最大限に生かして、上部を大胆に切り落としているところが力強く上手い。絵作りが素晴らしく、狙いを絞ってよくまとめられている。
- 優秀賞(太田)** 見る者誰もが心を癒やされほっとした気持ちになる。小さな後ろ姿が本当に可愛い。全てを上手にまとめた出来過ぎくらいうまい写真である。
- 優秀賞(藤本)** ピントの合わせ方、光の捉え方、構図など、技術的にも素晴らしく、写真の大道作品。撮影者が13歳とは驚いた。非常に味のある作品。
- 審査員特別賞(神崎)** 刀鍛冶が鋼を打ち火花が飛び散る様子は迫力満点であり、作者の意図が申し分なく伝わる。良く見ると静と動とを上手く合成しており、発想が新しく、合成の狙いがきちんと見て取れる。
- 審査員特別賞(安藤)** 石の風車に向かって真っ直ぐに伸びる天の川。石の風車を対象にした写真はこれまで見たことのないアングルで、とても美しく神秘的である。デジタル技術の進歩に伴って、岡山でもこうした写真が撮れるようになったのだと実感した。地元岡山にじっくりと目を向けた作品である。
- 審査員特別賞(芝)** 日の出と共に色づいた満開の梅の里公園。この幻想的な景色を撮影しに行く人は多い。何度も足を運んだのであろうか。黄砂などの大気物質が格好のフィルターとなり、最高の朝に恵まれている。
- 入選作品** どの作品も、時間を掛け、じっくりと撮影された様子が窺える。



### 審査風景

令和3年3月26日(日)  
長瀬正己先生・森山知己先生  
岡崎嘉平太記念館長



### 岡崎嘉平太記念館会場風景



### 岡山県天神山文化プラザ会場風景

## 第13回

### 嘉平太が愛したふる里の子ども作品展

令和3年2月20日(土)から3月1日(月)まで開催。吉備中央町内全小学校10校の主に6年生の作品を一堂に展示しました。小学校最後の思い出に制作した色紙、習字、備前焼、木彫のアルバムなど力作73点が並びました。



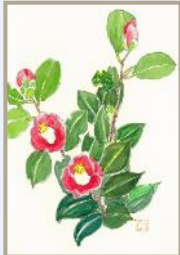
### 「嘉あちゃんの部屋」にて 新山の思い出展 開催

令和3年3月1日(月)から3月7日(日)まで開催。新山地区は吉備中央町の最北端に位置し、大山街道の宿場町、周辺の鉢山の開発により発展してきました。かつては「尾原銀座」と呼ばれ多くの店が建ち並び賑わっていました。新山地区活性化推進協議会と地域おこし協力隊の皆さんが、新山地区の懐かしい写真や資料を紹介しました。



### 「嘉あちゃんの部屋」にて 友を偲んで 二人展

令和3年3月12日(金)から4月11日(日)まで開催。岡崎嘉平太記念館の元館長河田啓子さんのはがき絵と昨年亡くなられた富山由子さんによる押し花の作品を展示。四季折々の草花や果物が優しいタッチで描かれた河田さんのはがき絵70点とアジサイやコスモス、乾燥させたイチゴの実など多彩な材料を押し重ね、写真と見間違ふほど精巧な富山さんの押し花25点が、華やかに所狭しと並びました。



※「嘉あちゃんの部屋」は、当館が使用する期間を除いて、主に町内の団体や個人の方に、学習の場、発表の場等としてどなたでもお気軽に御利用いただけます。

### 「岡崎嘉平太さんとの思い出」 募集しています

皆様から岡崎嘉平太氏との思い出を募集いたします。お寄せいただいたエピソードや写真の一部は当館が主催する行事等で紹介させていただくこともあります。岡崎嘉平太記念館ホームページの「『岡崎嘉平太さんとの思い出』募集中」フォーム、またはFAX・郵便等でもお受けいたします。

令和3年4月24日(土)に開催を予定しておりました開館20周年記念「大和山ハイキング」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止いたしました。

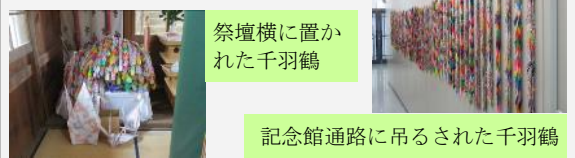
### 津賀小学校3・4年生と大和小学校6年生が 来館してくれました

吉備中央町内の津賀小学校3・4年生と大和小学校6年生の児童の皆さんや先生方が授業の一環で来館くださいました。学芸員による紙芝居や館内説明、クイズ等で学習した後、ANAオリジナルの紙飛行機を作って、きびプラザの広場で飛ばしたり、コロナ終息を願って千羽鶴を折りました。当館では、郷土の誇りである岡崎氏について子供達にしっかりと伝えていきたいと出前講座も含めて教育普及に努めています。



### 新春ミニ企画展同時開催 「みんなで千羽鶴大作戦」 千羽鶴を奉納しました

コロナ終息を願いながら千羽鶴を折ろう、というワークショップを開催したところ、約4800羽もの折り鶴が寄せられました。記念館職員が糸でつないで千羽鶴にし、令和3年3月22日(月)に疫病退散のご利益があると言われる吉備中央町内豊岡の八幡宮に奉納しました。千羽鶴に携わっていただきました皆様、ご協力ありがとうございました。



祭壇横に置かれた千羽鶴

記念館通路に吊るされた千羽鶴

## 新館長ご挨拶

今年6月に館長として着任しました杉原雅夫と申します。実は、前職は、(公財)岡山県郷土文化財団の常務職で、河内前館長の退任のあと、4月から名前だけの館長兼務となっていました。そちらを退任後非常勤で館長職を務めさせていただいております。もう一人、副館長職の高美宏之さんと交代で勤務しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

郷土文化財団では、郷土岡山の歴史・文化・自然について県民の皆さんに広く情報を発信するための文化講座や講演会を開催していますが、岡山県に関わる先人顕彰としては、ここ嘉平太記念館と同じく県の記念館がある犬養木堂さんの他に名文筆家として知られる内田百閒の研究、顕彰に努めており、岡山県と共催で内田百閒文学賞の運営も行っています。郷土文化財団に関わるまでは、こうした郷土の先賢についてはありきたりな一通りの知識しか持ちあわせておりませんでした。財団の業務を通じてその偉大な功績や人となり気づき、いずれもすごい人ばかりだと改めて認識するようになりました。

着任してみると、当館は開館20周年を記念する節目の年に当たっており、記念事業が目白押しという状況です。嘉平太先生は日中友好の先駆者、経営者としての多大な功績がよく知られているところですが、私なりに先生の言われる「物事の本質」を捉えれば、先生がお持ちの人間としての素晴らしさがその業績を生み出したと思えてなりません。「信と愛」で支えられた人間愛こそ後世に語り継がなくてはならないものと感じています。着任前に決められていたことですが、今回の20周年特別イベントでは、こうした人間性に着目した企画が主体となっており、これから始まる「遺墨展」や「書道展」では、そうしたところを多くの方々に伝えることができれば幸いです。

新型コロナウイルスの影響で休館措置を執らざるを得ず、予定していたイベントも中止や期間短縮となる状況ではありますが、一人でも多くの方々にご来館いただいて嘉平太先生の事績や人柄に触れていただけるよう、館員共々努めて参りますので、嘉平太記念館の運営に、今後ともより一層のご鞭撻、ご指導をよろしくお願いいたします。



第14回内田百閒文学賞  
表彰式にて

## これからの催し

岡崎嘉平太記念館開館20周年記念 特別企画展

### 遺墨にみる一岡崎嘉平太の人間像

令和3年10月1日(金)～12月26日(日)

記念館 企画展示室及び嘉あちゃんの部屋

岡崎嘉平太記念館開館20周年記念

### 岡崎嘉平太の心 書道展

応募締切 **令和3年10月22日(金)**

展示期間 令和4年3月5日(土)～4月7日(木)

会場 岡崎嘉平太記念館

企画展示室及び嘉あちゃんの部屋

※応募された全作品を展示します。

詳しくは、記念館までお問合せください。

岡山県記録資料館 令和3年度企画展

「子どもへのまなざしー地域の中の育み」

### 連携展示 嘉平太さんの子どもの頃(仮)

令和4年2月5日(土)～28日(月)

岡崎嘉平太記念館 嘉あちゃんの部屋

### 岡崎嘉平太記念館開館20周年記念 岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第20回 講演会

令和3年11月6日(土) 13:30～16:00(予定)

吉備高原リゾートホテル 3階大ホール

講師: 島谷弘幸氏

(独)国立文化財機構理事長・九州国立博物館長

申込締切: 令和3年10月23日(土) 入場無料

岡山県博物館協議会30周年記念事業

岡山県博物館めぐりの旅

### 加盟館紹介パネル展示 参加

令和3年12月3日(金)～19日(日) 記念館前 通路

岡崎嘉平太記念館開館20周年記念

### 岡崎嘉平太記念館20年のあゆみ展

令和3年12月13日(月)～12月17日(金)

岡山県庁1階 県民室

### 2020年度 岡山県自然保護センター写真展

令和4年1月7日(金)～31日(月)

岡崎嘉平太記念館 嘉あちゃんの部屋



編集・発行: 岡崎嘉平太記念館

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川4860-6 きびプラザ内

TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066

HP <https://www.okazaki-kaheita.jp> Eメール [okmh@okazaki-kaheita.jp](mailto:okmh@okazaki-kaheita.jp)